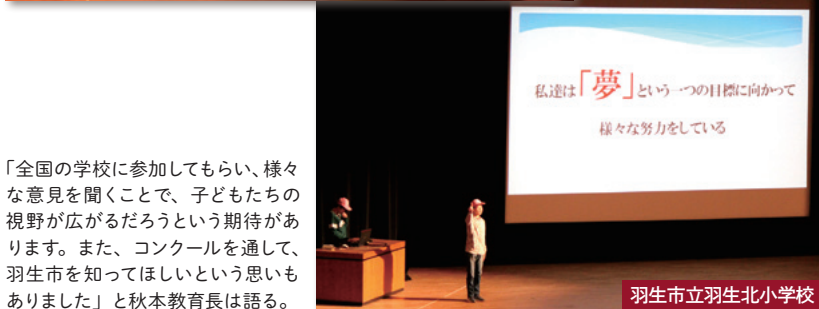


埼玉県羽生市

「夢と希望が輝くひとづくり」を目指し、 全国プレゼンテーションコンクールを開催



「全国の学校に参加してもらい、様々な意見を聞くことで、子どもたちの視野が広がるだろうという期待があります。また、コンクールを通して、羽生市を知ってほしいという思いもありました」と秋本教育長は語る。

プレゼンテーションでは、スライドや動画を活用したり、寸劇や歌を織り交ぜたりと、各校とも発表方法に工夫を凝らしていた。内容も自分たちで調べて練り、どのようにすれば聞き手に最も伝わるのかを考えた。何度も練習を重ねた成果が表れ、子どもたちは台本を見ることなく堂々と発表し、西中学校と羽生北小学校が最優秀賞を受賞した。



フッ化物塗布を乳幼児期から全額市費で実施し、歯磨き指導は小学1年生から始める。子どもたちにとって、2本の歯ブラシを使い分けて歯を磨くことは、生活の一部として習慣化しており、修学旅行の新幹線の移動中にも、昼食後に歯磨きをしていたという。中学校でもむし歯のない生徒は珍しくない。2017年度、東中学校が全日本学校歯科保健優秀賞(文部科学大臣賞)受賞。また、新郷第二小学校、西中学校は埼玉県学校歯科保健コンクールで最優秀校に輝いた。

2018年1月、埼玉県羽生市で「第1回全国プレゼンテーションコンクールin羽生」が開かれた。市内の全小・中学校と全国から10校が参加し、「夢」をテーマに思いを発表した。「各校とも、自分たちの言葉で大いに夢を語っていました。互いの様々な夢を聞いて、自分の夢も広がったことでしょう」と、秋本文子教育長は語る。

同市では2年前、市内の小・中学校を対象に同コンクールを始めた。その背景には、1867年のパリ万国博覧会に参加して日本文化を世界に伝えた郷土の偉人・清水卯三郎を顕彰し、世界に向けて発信するコミュニケーション力を子どもに育むきっかけにしたいという思いがあった。

昨年のテーマは「絆」。フィリピンの姉妹都市でのホームステイや、食虫植物の保護活動など、身近な体験に目を向けた絆の発表を通して、子

どもたちが地域や日本のよさを深く感じ取る様子もうかがえたという。

「発表方法も1回目より格段に工夫されていて、子どもの潜在能力の高さを改めて感じ、参加枠を全国に広げて子どもたちが切磋琢磨する場に行こうと考えました」(秋本教育長)

新しい施策の一方、十数年継続している施策が学校歯科保健だ。養護教諭や保健主事らの地道な活動により、学校や家庭に歯科衛生への意識が浸透。小学校時代に歯磨き指導を受けた子どもが今は保護者となり、我が子に指導するという良好なサイクルが確立されている。

「本市の教育目標は『夢と希望が輝くひとづくり』です。先生が夢を語り、夢のある子どもを育むために、学力、体力、豊かな心、学校力、地域力の5つを柱として、挑戦と継続を図っていききたいと思います」(秋本教育長)



教育長
秋本文子
あきもと・ふみこ

埼玉県公立中学校教員として勤務後、川口市教育委員会、埼玉県教育委員会、小学校校長を経て、2016年度から現職。

羽生市プロフィール

埼玉県の北東部に位置する羽生市は、中心部が衣料の町として発展する一方、周辺部は農業地帯で肥沃な田園に恵まれている。市内の公園には国の天然記念物指定の食虫植物「ムジナモ」の自生地がある。「世界キャラクターさみっとin羽生」を2010年から開催。

人口 5万5243人 面積 58.64km²
公立学校数 小学校 11校、中学校 3校
児童生徒数 4,042人
電話 048-561-1121

URL <http://www.city.hanyu.lg.jp/>



表紙の写真は、羽生市立西中学校でプレゼンテーションコンクールの練習が行われた際の様子です。